

第二十二回「心の花賞」発表

第二十二回「心の花賞」受賞作品

水口奈津子「セカンドフラッシュ」

正賞＝賞状および『佐佐木信綱全歌集』
副賞＝佐佐木幸綱色紙

選者賞＝各選者の著書、記念品

選考委員（選者）

佐佐木幸綱、奥田亡羊、駒田晶子、田中拓也、俵万智

選考経過

①応募総数 七十九
②佐佐木幸綱、奥田亡羊、駒田晶子、田中拓也、俵万智の各選者が十編を選んで投票。票の入った二十八編を予選通過作とした。その中から三編を選んで投票し、得票

のあった十編を一次選考通過作（○印）とした。さらに一ないし二票で再投票した結果は、水口奈津子作が四票、久永草太作三票、桜望子作一票。この三編（○印）を二次選考通過作として最終選考に入った。この時点で三編に絞られていたため、受賞作を一編にするか、二編にするかが最終選考の争点となった。メールで意見を述べ合い、選者全員が水口作一編を受賞作とすることで見解が一致。水口奈津子「セカンドフラッシュ」が受賞作に決定した。

予選通過作

○菅野彰一「ウエンカムイ」
安野ゆり子「靴べら」
高良真実「海洋覇権」
○奥村知世「春先のブラウス」
石田郁男「広場を渡る」
花美月「蛭ほうたる」
小峰圭子「最後の辞令」

○服部崇「赤兎馬」
○小澤法子「ほのあかりみゆ」
志水千登世「ミグラトリ」
大塚亜希「絹針を手に春の終日」
○西村康平「遠く戦びり」
松元雅子「小石は跳ねて」
片山佳代子「脱げにくい靴」
佐藤博之「サイダー壺と荔枝罐」
福永昭子「まなこふたつづ」
山本絲人「文通相手、」
○谷ちえみ「雪燃ゆ」
○桜望子「水葬」
○川又和志「吾のぶくぶく」
○水口奈津子「セカンドフラッシュ」
○久永草太「梅酒作るう」
蓼沼裕子「クリスタルの空」
鈴木香代子「笑っていて・・・」
金有美「櫻」
宮崎江美「父に」
長谷川静枝「百年の育児」
新留紀代美「鈍色の空」